

第 47 号議案

滋賀県立高等学校魅力化に向けた学科改編等実施計画の策定について

滋賀県立高等学校魅力化に向けた学科改編等実施計画を次のとおり定める。

令和 6 年 2 月 6 日

滋賀県教育委員会

別紙のとおり

滋賀県立高等学校魅力化に向けた学科改編等実施計画(案)

伊香高校

地域連携 多様な学び

生活・スポーツ・芸術系

<スクール・ミッション>

- ①未来を拓く心豊かでたくましい人づくりのため、生徒の自立する力・伝える力・協働する力・創造する力等の生きる力を育成する学校
- ②地域の熱意と協力により開校した伝統のもと、地域との連携・協働した学びにより、将来の地域を担う人材を育成する学校
- ③基礎学力の充実や発展的な学習等により、生徒の進路希望を実現するための確かな学力を育成する学校

育成を目指す資質・能力(グラデュエーション・ポリシー)

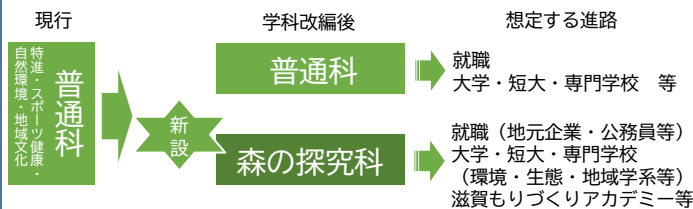
- ◆教育基本法に則り、将来の地域社会に貢献しうる、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな人材を育成します。
- ◆地域の未来を創造し、持続可能な地域社会を支える環境未来人材を育成します。
 - ・夢を描き、進路目標を実現する自己実現力
 - ・自己の思いを伝えながら、他者の多様性を理解するコミュニケーション力
 - ・人や地域と協働し、新たな創造に向かう課題解決力
 - ・未知の困難に柔軟に対応し、あきらめないレジリエンス力

特色ある教育活動(カリキュラム・ポリシー)

- ◆自身の興味関心や希望進路にあった類型を選び、進路実現を目指します。
- ◆小規模を強みとして、個に応じた学習を習熟度・少人数で展開します。
- ◆滋賀北部ならではの地域資源を活用し、地域と協働した学びを実施します。
- ◆外部講師を招き、地域をフィールドとした多彩な授業を設定しています。
- ◆自身で設定した課題を探究し、地域での実践を通して、学びを深めます。

※アドミッション・ポリシーについては、入学者選抜の改革を見据えながら検討する。

クラス編成

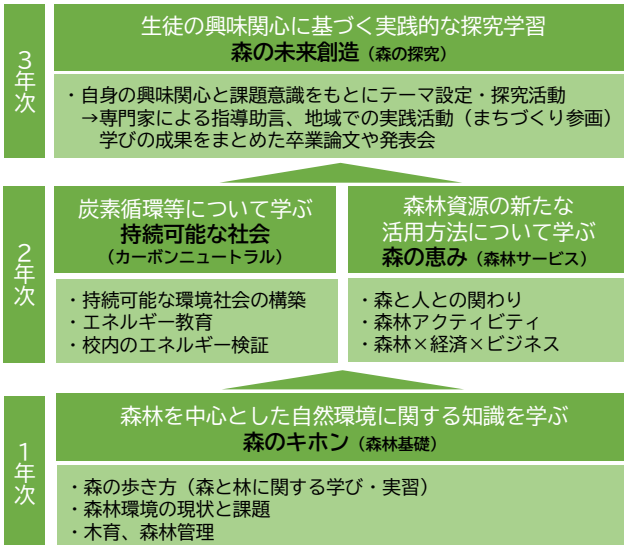


「森の探究科」の教育課程

<コンセプト>

滋賀県北部地域の豊かな自然環境、森林資源などを活用し「森で学ぶ」をコンセプトに、生徒の「生きる力」を地域とともに育む<ゼロ・カーボン・ハイスクール>を目指す。

<学びのイメージ>



◆教育活動の概要

持続可能な社会と琵琶湖に根ざした暮らしの創造、人と自然が共存する循環型社会構築に資する人材育成を図る。また、地域の森林資源などを活かしたまちづくりに関わり、地域活性化との相乗効果を目指す。

- 「森・川・里・湖」が水系でつながる滋賀北部ならではの学び
- 地域内外の専門家と協働した循環型社会に関する実践的な学び
- 地元地域や長浜市など地域と連携した学び

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
1年	国語			数学						英語		地理歴史	理科	保健体育	芸術	情報	森の恵み															総探
2年	国語		数学						英語		地理歴史	公民	理科	保健体育	家庭	持続可能な社会	森の恵み															LHR
3年	国語		数学		英語			地理歴史		理科		保健体育	選択																		総探	

※網掛け: 「森の探究科」ならではの特色ある学び

※総探: 総合的な探究の時間

※選択: 生徒の希望進路等により選択

学校を取り巻く環境

【伊香高校】

- ◆地域に根ざした伝統校
- ◆生徒の興味・関心等に応じた4つのタイプの学び
- ◆地域とのつながりを重視した教育活動
- ◆令和4年度魅力化推進事業の指定で地域コーディネーターを先行して配置
- ◆地域の生徒数減少に起因する小規模化
- ◆伊吹高校とのICT活用による遠隔合同授業の研究
- ◆生徒の9割以上が長浜市内の中学校出身

【長浜市】

- ◆人口減少地域であり、地域に思いを持った人材の育成が必要
- ◆林業に従事する地域おこし協力隊
- ◆脱炭素社会実現への動き
- ◆「ゼロカーボンシティ宣言」

【滋賀県】

- ◆MLGsとSDGs達成に向けた取組の推進
- ◆挑戦する若者の集う県北部を目指す「北の近江振興プロジェクト」

魅力化特色化

2

魅力化プラン

- ★地域の専門家と協働し、森・川・里・湖がつながる県北部ならではの学び
- ★地域をフィールドに、「地域の人々や文化的資源」と「生徒の興味関心や進路希望」を掛け合わせた多様な地域探究の学び
- ★専門スポーツ(野球・柔道等)の競技力向上や野外スポーツ等の学び

スケジュール

- 令和5年度 教育委員会規則を改正
- 令和6年度 学校説明会・体験入学等における新しい取組の周知 →新学科生徒募集
- 令和7年度～ 新学科設置

滋賀県立高等学校魅力化に向けた学科改編等実施計画(案)

守山北高校

地域連携

多様な学び

<スクール・ミッション>

- ①未来を拓く心豊かでたくましい人づくりのため、生徒の自立する力・伝える力・協働する力・創造する力等の生きる力を育成する学校
- ②地域と協働した学びに取り組むことで「人を想う心」を養い、地域の未来を担う人材を育成する学校
- ③地域と連携したキャリア教育を推進するとともに、多様なニーズに応じた教育課程を展開することで、進路希望を実現するために必要な力を育成する学校

育成を目指す資質・能力(グラデュエーション・ポリシー)

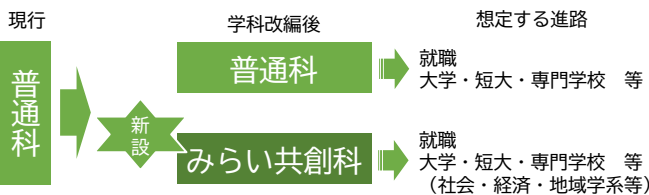
- ◆「人を想う心」を大切に、多様性を尊重する生徒を育成します。
- ◆自尊感情を育み、自らの個性や能力を存分に発揮することができる生徒を育成します。
- ◆起業家精神にあふれ、地域の課題解決に向け、自ら考え行動する生徒を育成します。
- ◆豊かなコミュニケーション能力を備え、他者と協働しながら地域の未来を創造する生徒を育成します。

特色ある教育活動(カリキュラム・ポリシー)

- ◆地域をフィールドとした体験的な学びと地域課題をテーマに、SDGsの視点から探究学習に取り組みます。
- ◆キャリア教育の充実と多彩なカリキュラム、学びのDX等により学力向上に取り組みます。
- ◆主権者教育や読書活動などにより、思いやりの心、規範意識などの社会性を育てる教育活動に取り組みます。
- ◆生徒一人ひとりを大切に、個に応じた支援に取り組みます。

クラス編成

※アドミッション・ポリシーについては、入学選抜の改革を見据えながら検討する。



「みらい共創科」の教育課程

<コンセプト>

「地域をフィールドとした学び」と「ウェルビーイング」を柱に、多様性を尊重し、他者と協働しながらよりよい地域の未来を創造する。

<学びのイメージ>

3 年次 発信	地域課題解決に繋がる起業プランの提案や政策提言等	
	みらい共創Ⅲ (体験的知見と創造的実践力を融合) ・行政や企業等への提案等(学びの成果) →市長等と意見交換会、タウンミーティング等 ・地域活動の発信 ・メンター活動(学びの継続)	もりきた学Ⅲ (総探) ・学園祭において地域と協働した企画実践 卒業レポート ・研究収録の作成と発表
2 年次 実践	地域課題の解決策を探究	
	みらい共創Ⅱ (幸せな自己と社会を探究) ・日本版デュアルシステムのような実践型インターンシップ(行政・企業・大学等) →行政、産業、教育、福祉等の専門家との交流や実践等を通して地域を考える アントレプレナーシップ教育	もりきた学Ⅱ (総探) ・私たちとMLGs ・ウェルビーイングを軸にしたキャリアデザイン ・自己分析
1 年次 基礎	自然、歴史、文化、産業等守山市を中心とした地域理解	
	みらい共創Ⅰ (多様な考え・価値観に触れる) ・グループワーク、ディスカッション、フィールドワーク等を通して地域理解を深める ・ソーシャルスキル、ビジュアルシンキング(絵や図を用いた視覚的な思考法)の育成	もりきた学Ⅰ (総探) ・社会課題についてウェルビーイングを意識しながら座学とフィールドワークで体験的に学び、自身と社会とのつながりを再構築 ・自己理解

◆教育活動の概要

「学校設定教科・科目」と「総合的な探究の時間」との相乗効果により探究活動の深化を図る。また、多様な主体と連携した学びを通して、幸せ・生きがい・安心・福祉・健康等、ウェルビーイングの視点で地域の未来を創造できる人材育成を図る。

- 自由な進路選択の機会と手厚いサポート
 - ・琵琶湖をキーワードにした体験学習等
 - ・学校外と連携(周辺施設・中学校等)
 - ・実践型インターンシップ
 - ・状況に応じた表現力の向上
- 地域や企業、大学等と、時間や場所の制約を超えてみらいを共創する学び
 - ・遠隔による学び(専門家による講義、情報交換・意見交換等)
- ・グループワークに適した学びの空間

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
1年	国語	数学		英語	地理歴史	理科	保健体育	情報	家庭																						
2年	国語	数学		英語	公民	理科	保健体育	芸術	選択																						
3年	国語	英語	地理歴史	理科	保健体育				選択																						

※網掛け: 「みらい共創科」ならではの特色ある学び ※総探: 総合的な探究の時間
 ※選択: 生徒の希望進路等により選択
 ※「みらい共創Ⅱ」の1単位分は、長期休業中の集中講座等を想定

学校を取り巻く環境

【守山北高校】

- ◆「人を想う心」の育成を目指す学校
- ◆地域とのつながりを重視した教育活動
- ◆文化・スポーツ・社会福祉施設等に恵まれた立地
- ◆多数の生徒が守山市や野洲市等近隣から自転車で通学

【守山市】

- ◆「豊かな田園都市守山」や「起業家の集まるまち」のまちづくりを推進
- ◆若者のアントレプレナーシップ教育の推進

【滋賀県】

- ◆MLGsとSDGs達成に向けた取組の推進(琵琶湖に近い立地)
- ◆DXによる新たな価値創造の推進

魅力化
特色化

3

魅力化プラン

- ★地域の未来を担う人材育成を目指し、地域の課題解決に向けた学び
- ★外部人材の活用や地域を教育資源としたフィールドワーク等による体験的な学び
- ★スポーツ・観光や環境問題等の視点からSDGsを指標に新たな価値の創造につながる教育活動

スケジュール

- 令和5年度 教育委員会規則を改正
- 令和6年度 学校説明会・体験入学等における新しい取組の周知 →新学科生徒募集
- 令和7年度～ 新学科設置

「滋賀県立高等学校魅力化に向けた学科改編等実施計画」(案)について

1. 趣旨

人口減少、少子高齢化やグローバル化、情報化、技術革新の進展等、急速に社会情勢が変化する中で、概ね10年から15年先を見据えて、新しい時代を切り拓く人づくりのため、県立高校の在り方の基本的な考えを示した基本方針を令和4年3月に策定した。この基本方針に基づき、全県的視野から各県立高校の魅力化の方向性を示す「滋賀の県立高等学校魅力化プラン」を令和5年3月に策定し、各県立高校の魅力化の取組を推進している。

令和5年度は、このプランに基づいて、伊香高校と守山北高校における学科改編等に向けた検討を進め、具体的な学科等の内容を盛り込んだ「滋賀県立高等学校魅力化に向けた学科改編等実施計画(以下「実施計画」という。)を策定する。

2. 検討の経緯

令和5年	4月	伊香高校と守山北高校が、令和5年度「新時代に対応した高等学校改革推進事業(普通科改革支援事業)」に採択
	6月	伊香高校と守山北高校にコーディネーターを配置し、新学科設置に向けてカリキュラム等の検討を開始
	7月	常任委員会(実施計画の策定について)
	10月	常任委員会(実施計画(案)について)

3. 今後のスケジュール(予定)

令和6年	2月	教育委員会(実施計画(案)付議)、策定 (「滋賀県立学校の校舎、課程、部および学科等の設置等に関する規則」改正案を付議)、改正
	3月～	中学生・保護者等へ周知
令和7年	4月	新学科設置